

令和7年度指定管理者業務モニタリング評価表

施 設 名	生涯学習センター
所 在 地	豊橋市大岩町字東郷内111-1 ほか20館
指 定 管 理 者	二川生涯学習センター運営委員会ほか20館運営委員会
指 定 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担 当 課	豊橋市教育委員会教育部生涯学習課(0532-51-2849)
令和6年度指定管理料 (決算)	118,771千円
令和7年度指定管理料 (決算見込)	137,143千円

0

項 目		基準	評価				
管 理 業 務 の 実 施 状 況 に 関 す る 項 目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適切に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	・ 原木シイタケの打ち込み体験を実施した。 ・ 高齢者を対象とした介護や資産についての講座やスマホ講座を実施した。 ・ 地域の文化協会と共催で音楽会、東海道歴史学習会、健康麻雀講座等を開催した。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	事業計画書のとおり適正に人員配置がされており、労働環境は関係法令等順守し、適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	応対や救命をテーマとした各種研修を行っている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書の個人情報保護規定に基づき、適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	火災発生時のフロー図及び生涯学習センター緊急連絡網を備え、避難訓練(年2回)を実施していることから、十分な取り組みがなされている。				
施 設 利 用 状 況 に 関 す る 事 項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	使用許可は基準に基づき適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和6・7年度を比較)		R5年度	R6年度	R7年度	比較(R7-R6)
			開館日数	309日	307日	308日	1日
			利用者数				
			a.部屋利用者	384,525人	380,008人	401,308人	21,300人
			b.その他来館者	394,507人	417,612人	438,758人	21,146人
			【要因分析】 コロナが5類に移行以降、自主活動グループが増え続けている。営利目的での利用も大幅増加した。また、向山図書館の改修に伴う閉館により図書貸出及び返却のための利用が増加した。				
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	ホームページの作成やセンターだよりを地域へ配布することにより、施設のPRを行っている。また、研修の中で他館と情報交換を行うことで、より良いサービスの提供に努めている。				
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	利用者アンケート 大変満足67% ほぼ満足30% やや不満1% 大変不満1% 無回答1% アンケート結果を分析すると利用者の満足度は高いものと考えられる。				
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内 容			対 応	
スタッフが丁寧で親切			継続していきたい				
設備の劣化が見られる			修繕等随時対応している				
wi-fiがあり便利			多くの方に使っていただけるよう、周知していく				
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	迅速かつ適正に対応している。					

管理 経費 等 の 収 支 状 況 等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また指定管理業務とその他の業務を区分し適正に管理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	概ね収支計画どおりの収支状況となっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	137,143千円	指定管理事業費	135,064千円
			利用料金収入			
			自主事業収入			
	その他収入		7,688千円			
		収支差額		9,767千円		

指定管理者の提案事業の実施状況	利用者のニーズの把握に努め、積極的に自主事業を実施し、サービス向上に努めた。
-----------------	--

当年度の対応方針	規制緩和により、営利目的での部屋利用ができるようになった。引き続き自主事業の充実に励むとともに、利用者増、満足度の向上に努めていただきたい。
----------	--

指定管理者の自己評価	賃金の改正等、市と協議を行うとともに、主事に対しても情報共有を図り、迅速かつ正確に対応することができた。
------------	--

総合評価	令和7年度の指定管理業務については、事業計画書、協定書、仕様書等により適正に管理されている。評価できる点としては、これまで行ってきた自主事業を継続して続けている館が多く、また、新たな自主事業を行う館もあり、住民サービスの向上に努めた点が挙げられる。
------	--

次年度の対応方針	営利目的での部屋の利用が可能となったため、さらなる利用者増の見込みである。引き続き自主事業の充実に励むとともに、自主事業を経て自主グループ化した利用者の定着を図り、利用者増に努めていただきたい。 また、センター利用者の満足度の向上をはかり、快適に利用してもらう努力を継続することを期待したい。
----------	---